

# スポーツ現場実習 I

科目ナンバリング SPS-314

選択 1単位

本郷 仁吾・松永 悠希・大塚 玲香

## 1. 授業の概要(ねらい)

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で活動しているトレーナーの活動内容などを見学する。今後、スポーツ現場でトレーナー活動を行う為に必要な心構えや知識・技術などを現場見学を通して学んでいく。

## 2. 授業の到達目標

- ・トレーナー見学実習の意義について述べるができる。
- ・各スポーツ現場における具体的なトレーナーの活動内容について説明できる。
- ・スポーツ現場に入るために大切な心構えなどについて述べるができる。
  - ・現場実習に必要な知識や技術について説明できる。
- ・トレーナー見学実習の意義について述べるができる。
- ・各スポーツ現場における具体的なトレーナーの活動内容について説明できる。
- ・スポーツ現場に入るために大切な心構えなどについて述べるができる。
- ・現場実習に必要な知識や技術について説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動(25%) レポート(25%) 報告会発表(50%)

## 4. 教科書・参考文献

教科書

『日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト①アスレティックトレーナーの役割』

参考文献

『JATIトレーニング指導者テキスト全2巻』

## 5. 準備学修の内容

参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

## 6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンスほか
- 【第2回】 見学実習の意義
- 【第3回】 見学実習に向けた心構えについて
- 【第4回】 トレーナーに必要な知識とスポーツ現場での実際
- 【第5回】 トレーナーに必要な技術とスポーツ現場での実際
- 【第6回】 現場における緊急時の対応について
- 【第7回】 現場における傷害発生時の対応について
- 【第8回】 現場におけるウォーミングアップの目的とその実際
- 【第9回】 現場におけるクーリングダウンの目的とその実際
- 【第10回】 アスレティックリハビリテーションの目的とその実際
- 【第11回】 現場におけるトレーニング指導とその実際
- 【第12回】 スポーツ傷害予防の為にコンディショニングについて
- 【第13回】 パフォーマンス向上の為にコンディショニングについて
- 【第14回】 コーチ、医科学スタッフとトレーナーとの連携・協力について
- 【第15回】 発表と総評